

製品名: 切断型第 VII 因子 LC (R212) ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab08987**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	17kDa

抗原情報

遺伝子名	F7
別名	F7; Coagulation factor VII; Proconvertin; Serum prothrombin conversion accelerator; SPCA; Eptacog alfa
遺伝子 ID	2155.0
SwissProt ID	P08709
免疫原	抗血清はヒト FA7 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 171-220

背景

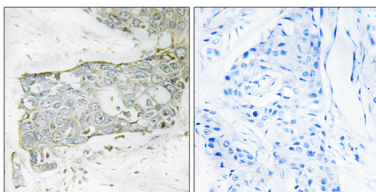
この遺伝子は、止血に必須のビタミン K 依存性因子である凝固第 VII 因子をコードしています。この因子はチモーゲンの形で血液中を

循環し、第 IXa 因子、第 Xa 因子、第 XIIa 因子、またはトロンピンによる軽度のタンパク質分解によって活性型に変換されます。第 VII 因子が活性化されると、触媒ドメインを含む重鎖と 2 つの EGF 様ドメインを含む軽鎖が生成され、2 つの鎖はジスルフィド結合によって結合します。第 III 因子およびカルシウムイオンの存在下では、活性化因子は第 IX 因子を第 IXa 因子に、および/または第 X 因子を第 Xa 因子に変換することにより、凝固カスケードをさらに活性化します。この遺伝子の欠陥は、凝固障害を引き起こす可能性があります。選択的スプライシングにより、異なるアイソフォームをコードする複数の転写バリエーションが生成され、同様のタンパク質分解処理を受けて成熟ポリペプチドが生成される可能性があります。[RefSeq 提供、2015 年 8 月]触媒活性: 第 X 因子の Arg-|-Ile 結合を選択的に切断して第 Xa 因子を形成する。疾患: F7 の欠陥は、第 VII 因子欠乏症[MIM:227500]の原因である。第 VII 因子欠乏症は、まれな遺伝性出血性疾患である。臨床像は、脳内出血または関節内出血の早期発現を伴う非常に重篤な場合もあれば、対照的に、皮膚粘膜出血（鼻血、月経過多）または外科的介入によって引き起こされる出血を伴う中等度の場合もある。多くの被験者は、F7 レベルが非常に低いにもかかわらず、全く無症状である。機能: 血液凝固の外因性経路を開始する。チモーゲンの形で血液中を循環するセリンプロテアーゼ。第 VII 因子は、第 Xa 因子、第 XIIa 因子、第 IXa 因子、またはトロンピンによる軽度のタンパク質分解によって第 VIIa 因子に変換されます。組織因子とカルシウムイオンの存在下では、第 VIIa 因子は限定的なタンパク質分解によって第 X 因子を第 Xa 因子に変換します。第 VIIa 因子はまた、組織因子とカルシウムの存在下で第 IX 因子を第 IXa 因子に変換します。、オンライン情報: 第 VII 因子のエントリー、オンライン情報: シンガポールのヒト突然変異および多型データベース、医薬品: ニアスターゼまたはノボセブ（ノボ ノルディスク）の名前で入手可能です。凝固第 VIII 因子または第 IX 因子に対する抗体を有する血友病 A または B 患者の出血エピソードの治療に使用されます。、多型:Q アレル (Gln-413) を持つ人は、心筋梗塞に対する感受性が低下しているようです。、PTM:鉄および 2-オキソグルタル酸依存性のアスパラギン酸およびアスパラギンの 3 位水酸化は、EGF ドメイン内で (R) 立体特異的です。、PTM:ビタミン K 依存性の、いくつかのグルタミン酸残基の酵素的カルボキシル化により、修飾されたタンパク質はカルシウムと結合できます。、類似性:ペプチダーゼ S1 ファミリーに属します。、類似性:1 つの Gla (ガンマカルボキシグルタミン酸) ドメインを含みます。、類似性:1 つのペプチダーゼ S1 ドメインを含みます。、類似性:2 つの EGF 様ドメインを含みます。、サブユニット:軽鎖と重鎖が結合したヘテロ二量体ジスルフィド結合によって。、組織特異性:血漿。、

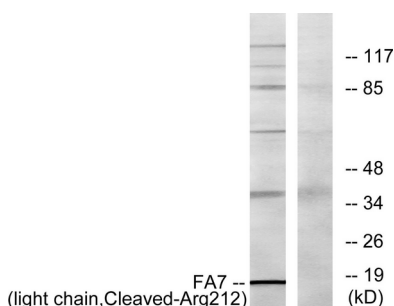
研究分野

補体と凝固カスケード;

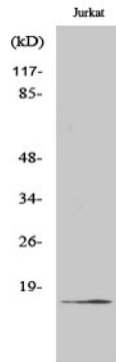
画像データ



FA7 (軽鎖、切断型 Arg212) 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト乳癌組織の免疫組織化学染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした画像。



Jurkat 細胞ライセートを eto 25uM で 24 時間処理し、FA7 (軽鎖、切断型 Arg212) 抗体を用いてウェスタンブロット解析を行った。右レーンは合成ペプチドでブロッキングした。



Cleaved-Factor VII LC (R212) ポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット解析